

## 令和5年度第1回一関小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第1回一関小学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和5年4月25日（火） 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 開催場所 一関小学校応接室
- 4 出席者
  - (1) 委員 武田勝郎委員（会長）、千葉美佳子委員（副会長）、菅原正樹一関小学校校長（副会長）、百々正博委員、齋藤宏一委員、佐々木彰徳委員、三浦聖子委員、尾崎尚子委員

※欠席者 伊藤文男委員

- (2) 事務局 岡千治主幹教諭
- 5 議題
  - (1) 学校運営の基本方針について（授業参観を含む）
  - (2) 一関小学校150周年記念事業紹介
  - (3) 児童の状況
  - (4) 学校運営支援協議会について
  - (5) 役員互選
  - (6) 「地域と共にある学校」づくり

- 6 公開、非公開の別 議題(2)～(6)公開、(1)授業参観のみ非公開

- 7 傍聴者 0人

- 8 菅原正樹一関小学校校長挨拶

学校のインフルエンザ罹患者や、新型コロナウイルス感染症罹患者は0名となっている。

今年度の運動会は、全校一斉で午前で開催する予定である。本日の参観日も人数制限をかけていない。行事への来賓案内も行う。今年度も、学校運営支援協議会の委員の皆さんからご協力をいただきながら、子ども達の心の成長へと繋がる活動を行っていきたい。

- 9 議事内容

- (1) 令和5年度学校運営の基本方針について  
資料に基づき校長から説明を行った。以下、意見等。  
委員 昨年度承認していたが、再度確認できた。
- (2) 150周年記念事業紹介  
別紙に基づき事務局より説明を行った。以下、意見等。

委員 とても分かりやすく、学校全体で取り組んでいることを感じた。

(3) 児童の状況

4月の児童の様子を事務局より簡単に説明した。以下、質疑応答等。

委員 614名全員が、元気に児童が登校できていることを嬉しく思う。

委員 学級数はいくつあるのか。

事務局 24学級あり、そのうち5学級が特別支援学級である。

(4) 学校運営支援協議会について

資料に基づき校長から説明を行った。以下、意見等。

委員 一関小学校は、学校運営支援協議会の目的をほとんど網羅している。

事務局 去年は挨拶のできる児童を育むために、お手紙活動を行った。今年はそれを継続しつつ、地域も学校も一緒に挨拶活動ができるように取り組んでいきたい。

(5) 役員互選

互選の結果、会長に武田勝郎委員を、副会長に千葉美佳子委員がそれぞれ選出された。

(6) 「地域と共にある学校」づくり

ア 「地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現」について、今年度の取組を検討した。以下、質疑応答等。

事務局 本校にないボランティアには、どのようなものがあるか。

委員 南小学校では、着衣水泳ボランティアがあり水泳協会の協力を得ている。

委員 地域の方をゲストティーチャーとして呼びし、学習に繋げるとよいのではないか。

委員 水害や、東日本大震災の経験を教えていただくのも防災教育に繋がる。

イ 「あいさつができる児童の育成」について、今年度の取組を検討した。以下、質疑応答等。

事務局 地域から声かけをしていただき、児童が挨拶できる環境を地域につくりたい。

例えば、通学路に地域の方が立っていただき、たくさんの挨拶ができるイベントのような日を1年間で1日か2日つくるのはどうか。

委員 地域で挨拶する人たちも、防犯協会でも借りることができる旗をもつなどの工夫ができる。

委員 年間で1日から2日なら、民区にも呼び掛けることができる。

事務局 日程を検討の上、取組の相談をする日を2学期に設定する。

ウ 「児童の安全向上と感謝の気持ちの育成」について、今年度の取組を検討した。以下、質疑応答等。

委員 お手紙の取組は継続がいいと思う。

事務局 お手紙の取組は、手紙を書く児童を増やすことに繋がる。対象をスクールバスの運転手の方や、バスに乗る前にお世話をしてくださっている方々にも広げて取り組む予定である。地域との繋がりを深めていきたい。

委員 令和6年度に向けて、中学校区での学校運営支援協議会の立ち上げの準備活動も必要である。

事務局 学校運営支援協議会で熟議しながら進めていきたい。

10 担当 一関市立一関小学校